

愛媛県 高校入試情報

令和7年度愛媛県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

大問1 論説文 岩立康男「直観脳」
大問2 小説 ほしおさなえ「紙屋ふじさき記念館 あたらしい場所」
大問3 漢字（読み）
大問4 漢字（書き）
大問5 古文 「閑田次筆」
大問 作文 「読書活動の推進について（国立教育政策研究所の全国調査の結果による）」
例年同様、説明文・小説・漢字・古文・課題作文という構成である。読解問題のなかに、国語の知識を問う出題がされており、読解力、記述力も合わせた総合的な力が求められる。

★愛媛県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■古文の問題の対策

古文は、あまり一般的ではない題材からの出題が続いている。歴史的仮名遣いや、文章に関する会話文を完成させる出題が多く、内容を正確にとらえてまとめる力が必要である。多くの古典作品にあたり、問題練習を重ねるとよい。

新研究で対策！

●ウォームアップ特集「はじめよう！古文」（p. 80～81）では、古文の問題を解く際に勘違いしやすい部分を再確認できます。
●フォロー特集「古文のかなづかい・重要古語の徹底練習」（p. 104～105）や「古文プラス問題」（p. 114～115）で、苦手になりがちな古文の問題を手厚く対策できます。

■課題作文に関する対策

資料に基づいて、自分の考えを書かせる作文が出題された。例年300～400字の字数が設定されている。提示された資料を読み取る力と、論理的に表現する力をつけておきたい。

新研究で対策！

●「29 課題作文を書こう」・フォロー特集「課題作文で使う言葉」（p. 148～153）で、原稿用紙の使い方などからわかりやすくまとめています。
●入試実戦講座⑤⑥⑦「課題作文」（p. 174～177）では、最新の入試で出題された作文問題を利用して、作文を書く力を高めていくことができます。課題作文の傾向も示しています。

令和7年度愛媛県入試では、書写の知識を問う問題が出題されました。楷書体と行書体の違いや特徴をおさえておきましょう！



★愛媛県入試出題内容別・形式別傾向分析（過去4年間）

出題内容別の傾向		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	漢語・字句	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう	●		●	
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう	●	●		●
		展開をとらえよう	●			●
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう	●		●	●
		文章中の表現を味わおう	●		●	
		話題・情報をとらえよう	●	●	●	
		指示語・接続語をとらえよう	●	●	●	
		文章を解釈しよう	●	●	●	●
		理由をとらえよう			●	●
		段落構成をとらえよう				
		要旨をとらえよう	●	●	●	●
	古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●	●
		古文の会話・主語をとらえよう	●	●	●	●
		古文の展開をとらえよう	●	●	●	●
		漢文・漢詩を味わおう				
	詩歌	詩・短歌を味わおう				
		和歌・俳句を味わおう				
	文法	文の組み立てを知ろう			●	●
		自立語を学ぼう			●	
		付属語を学ぼう	●	●		
	表現・情報	敬語を使いこなそう				
		グラフ・図表をとらえよう	●	●		●
		話し合いをとらえよう				
		伝え方の工夫を学ぼう				
		課題作文を書こう	●	●	●	●
別出の題傾向	形式	★聞き取り問題				
		大問数	5	5	5	5
		小問数	34	32	33	34
		記号解答	7	8	8	9
		記述式解答（漢字の読み書きも含む）	27	24	25	25

★新研究で出題した愛媛県の入試問題（令和7年度）

- p. 13大問2（8）漢字
- p. 129（2）付属語